



少人数学級の
推進を！

加藤英雄県議
みわ由美県議

千葉県教育長と懇談

「子どもたちの学び、心身のケア、安全を保障するために」 学校再開にあたっての緊急提言（6／2 日本共産党）を届けました

加藤英雄、みわ由美両県議は9月3日、「緊急提言」を澤川和宏千葉県教育長に届け、少人数学級の拡充について懇談しました。

加藤県議は、さいとう和子前衆院議員とともに、県立高校の校長と意見交換したことなどを伝え、「新型コロナウイルス感染拡大を通じて、少人数学級の必要性がますます鮮明になった。日本教育学会も提案している全国での教員10万人増を、党としても求めている」と強調しました。

みわ氏は、松戸市教育長との懇談や、県内の学校視察をふまえて、「コロナの緊急事態宣言解除後、学校が再開されたが、教室の密状態解消へ分散登校にしたことは先生からも喜ばれている」と指摘しました。

教員定数増など国にお願いしている…感染拡大前と変わらない県教委

教育長は「少人数学級拡大の方向性は共有できる」としながらも、「教員定数増などを国にもお願いしている。教員の負担軽減へいろいろ工夫していきたい」などと、県独自に少人数学級を積極的に広げる姿勢は示しませんでした。これでは新型コロナウイルス感染拡大前とかわりません。

その一方、分散登校については「当初、いろいろ議論があったが、学校現場から評価されているとのことなのでよかった」と、教室の子どもの人数を減らした方がよいことは認めました。

また、今後、学校で感染が確認された場合は「休校にして感染拡大を防止せざるをえないが、速やかな再開をめざしていきたい」と述べました。

千葉県の学級編成基準（千葉市は別途基準）

小学校 1年・35人（法による）、2年・35人（国の予算措置）、3年・35人、4年～6年・38人を選択できる
中学校 1年・35人を選択できる 2年～3年・38人を選択できる 県立高校（全日制）1年～3年・40人

